

2月13日(月)

## 待つ訓練

聖書朗読 使徒の働き 1:15

彼らといっしょにいるとき、イエスは彼らにこう命じられた。「エルサレムを離れないで、私から聞いた父の約束を待ちなさい。」

使徒の働き 1:4

私たちには、「主を待つこと」がとても重要なことです。使徒の働き2章での圧倒的な出来事は、1章で「待った」からこそ起きたのです。主を待つことは私たちに、喜び、新たな視点、そして、再生を与えてくれます。主を待つということは、言い換えれば、真の力は私たちにではなく、神にあると私たちが告白することを神に示すことでもあります。私たちが忙しく働いているからすべてが達成できているわけではありません。私たちは、日々の糧に至るまで、全て完全に神に依存しているのです。私たちは、神の中に生き、動き、また存在しているのです。(使徒の働き 17:28) 主を待つことは、これらのことを認めることです。

私たちがすべてにおいて神に依存しているということは、私たちの信仰の証でもあります。大切なのは自分ではなく、神であるとするならば、やることが山のようにあるなどという理由で、神をないがしろにしたりはしません。その代わりに、私たちは何をすることも神からの助言や祝福を求めます。これがまさにイエスの生き方でした。キリストの体である教会—私たちも、イエスが教えられたように生きるべきです。主を待ち望みましょう。

讃美歌 338

祈り お父様。私たちは、祈りもないがしろにしてしまうような忙しい生活を送っています。どうか私たちにゆとりを与え、あなたを待つことを教えてください。イエス様のお名前によって。アーメン。

アラバマ州 オペリカ  
ブルース・グリーン

## 今日の日

2022年2月13日～2月19日

翻訳 ハイステン・悦子  
(スウィーニーキリストの教会)

編集 野口 恵美子

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

2月14日(火)

## 励ましのストーリー

聖書朗読 ローマ人への手紙 1:8~17

私があなたがたに会いたいと切に望むのは、御霊の賜物をいくらかでもあなたがたに分けて、あなたがたを強くしたいからです。というよりも、あなたがたの間において、あなたがたと私との互いの信仰によって、ともに励ましを受けたいのです。

ローマ人への手紙 1:11-12

サラ・アンドリュースは、アメリカのクリスチャンの支援を受けて、日本で宣教をしました。彼女は沼津市、そして近隣の地域で教会を立ち上げることに貢献しました。彼女の教えと愛の行いは称賛を受け、感謝されました。第二次世界大戦が始まると、彼女は捕虜収容所に入れられ、そして、重い病気のために自宅軟禁の身になりました。クリスチャンになった彼女の若い生徒の一人は、彼女の様子を見に行き、彼女が持ちこたえられるように食料をこっそり差し入れようとしました。当時、クリスチャンが讃美歌を歌うことは禁じられていました。この青年は、礼拝のために畳の部屋に仲間を集め、彼らは本なしで覚えていた讃美歌を選んで、声に出さずに心で讃美しました。戦争が終わると、サラは日本に残って、彼女を助けた若い生徒たちや軍人の家族たちを献身的に励ましました。

これは信仰にある励まし合い、助け合いというものでしょうか？もちろんです。サラの支援者たちは、彼女を経済的に支援し、サラは生徒たちを御言葉によって励ましました。彼らは、物質的な必要を満たすことでサラを励ましました。サラは、捕虜とされたことに対する憎しみを隠すことなしに、仕える人々への愛だけで日本に主の教会を建てるという励ましの遺産を残しました。私どもたち、人々の信仰を強め励ます事を求めていきますように。

讃美歌 270

祈り 親愛なる主よ。サラのように、信仰深く、勇気ある宣教師達に感謝いたします。私どももまた、信仰によって励まし合うことで、信仰に生きる友人たちの人生の一部となることが出来ることに気付けますように。イエス様のお名前によって。アーメン。

カリフォルニア州 サウザンドオークス  
スーザン・K・ギボニー

2月15日(水)

## 神の御業

聖書朗読 ローマ人への手紙 5:2~17

神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。

ヨハネ 3:16

保険の仕事をしている関係で、私は最近、保険の指針に書かれた特定の災害について話し合う会議に出席しました。暴風、竜巻、ハリケーンについて言及されたときに、“天災(神の御業)”という表現が、何度も使われました。この表現について何日も考えた後、これらの災害は、“人災(人の業)”と呼ばれるべきである事に気付きました。

私たちの創造主は、全てにおいて調和がとれ、破壊的な力が存在しない、完璧な世界を計画されました。罪、悲しみ、そして、破壊的な力は、神の計画ではなかったのです。神は、死も腐敗の存在しない場所を造られました。そして、アダムとエバの不従順によって、罪と混乱がこの世界に入り込んだのです。

このような“人災”は、私たちが父なる神から距離を置く時に起こります。しかし、救い主は私たちを探し求め救うためにこの世にやって来られました。罪がなかったのにも関わらず、救い主は十字架で罪とられました。救い主は、全ての人々のために死なれ、神と私たちを和解させ、命の平安と調和を回復されました。これこそが、“神の御業”です。

聖歌 654

祈り 創造主、そして、救い主よ。あなたの偉大な愛と憐みを讃えます。キリストの犠牲を私達にくださって、ありがとうございます。キリストという贈物に心を留めることができますよう、助けてください。イエス様のお名前によって。アーメン。

フロリダ州 ジャクソンビル  
グレッグ・アンソニー

2月16日(木)

## 頌 栄

聖書朗読 ローマ人への手紙 11:33~36

というのは、すべてのことが、神から発し、神によって成り、神に至るからです。どうか、この神に、栄光がとこしえにありますように。アーメン。

ローマ人への手紙 11:36

人生には、言葉では表現できない出来事があります。例えば、3人の息子の誕生を言葉で言い表すのは難しいです。私の花嫁が、バージンロードを私に向かって歩いてきた日の事も、言葉では表現するのは難しいです。イエス・キリストの血によって救われた日のことは、言葉にできません。

神についてはどうでしょう。無限の神を、私たちの限られた言葉でどうやって表現できるでしょうか。父なる神、神の子、聖霊について、5歳児に説明することを想像してみてください。私は夕食の最中に一度試してみましたが、説明し始めた途端に、子供を混乱させてしまいました。

頌栄、ドクソロジーとは、神を讃えるという形式に与えられた名前です。最も素晴らしい頌栄の一つは、ローマ人への手紙11章の終わりのほうに見られます。パウロはここで、イスラエル人が神を拒んだこと、神が彼らの不従順を利用して異邦人に救いの機会を与えられたことについて書きました。神は、ユダヤ人を奮い立たせるために、異邦人を用いられました。そして今、イエスにあつて、“信じる者全てが義”とされるのです。これがパウロの頌栄へとつながりました。“ああ、神の知恵と知識の富とは、何と底知れず深いことでしょう。”

讃美歌 541

祈り 親愛なる神様。人生における全ての困難や試練の時を通して、あなたを讃える勇気を与えてください。そして、私達の人生に対するあなたの御計画を信じることの出来る、揺るぎない信仰を植え付けてください。イエス様のお名前によって。アーメン。

テネシー州 ナッシュビル  
ジョシュ・バーネット

2月17日(金)

## ガ ー ド レ ー ル

聖書朗読 ローマ人への手紙 14:13~23

あなたがたは自由人として行動しなさい。その自由を、悪の口実にしないで、神の奴隷としてもちいなさい。すべての人を敬いなさい。兄弟たちを愛し、神を恐れ、王を尊びなさい。  
I ペテロの手紙 2:16~17

ガードレールは、安全のための防護柵です。聖書には、クリスチャンの自由に関する二つの防護柵(そうすると良いですよ)について書かれています。

一つ目は、主にある良心に従うことです。他の人が何をしようかと、良心に逆らうことは、正しくありません。私たちは、自分の行いが神の御計画に沿ったものだと表せるように、神の御前で誠実に生きなくてははいけません。私たちは、愛をもって忠実な心で神をたたえます。二つ目のガードレールは、他の人を愛することです。自由であるといっても、私たちには、信仰の仲間たちが愛と誠実さをもって神と歩んでいけるように励ます使命が与えられています。私たちの行いは、ほかの人を敬い愛することを求める心を表します。

この世界では、個人の権利が強調されがちです。クリスチャンである私たちは、豊かに注がれた恵みによって、神と人に仕えることができるというという特権を強調するべきです。

讃美歌 448

祈り お父様。キリストにあつて、救いと自由を与えてくださったあなたを褒め讃えます。どうか、あなたの御霊が、誠実さと愛のガードレールの内側で私たちを導いてくださいますように。イエス様のお名前によって。アーメン。

テキサス州 ビクトリア  
ライマン&ダイナ・メレネス

2月18日(土)

## 冗談でしょ？

聖書朗読 ローマ人への手紙 15:17~20

ほんとうに、私は主のはしためです。

ルカ 1:38

私の担当するクラスの壁の電気のスイッチの下には、“ピーナッツ”の漫画のコピーが貼ってありました。生徒たちは、毎日教室に出入りする度に、ライナスがルーシーにこんな事を言っている場面の前を通りました。“地球は君を中心に回ってるんじゃないんだよ。”この漫画の最後の場面で、ルーシーは信じられない様子でこう言い放ちます。“冗談でしょ？”今日の文化の流れに反して、私たちの人生において中心なのは私たち自身ではありません。イエスは私たちに、仕える者になるように教えられました。イエスは、他の人を優先するように教えられました。一番上になりたい者は、反対に、僕になるように教えられました。ライナスがルーシーに言った言葉は、理に適っています。クリスチャンの人生において、中心となるべきは、私たち自身ではなく、神と神の子なのです。

唯一、私たちが自分自身を一番にすべき時は、主に自らを捧げる時のみです。私たちが自分自身を見つめ直し、人生の計画を建てる時、私たちの思考は他の人達から、自分自身へと変わります。私は主に導かれて行動しているだろうか？自分のベストを神に捧げているだろうか？自分の日々の行動に神の愛を表せているだろうか？私たちは、はっきりとした目的を持つことで、より人に仕えることができます。

讃美歌 136

祈り 主よ。どうか私の霊的な生活に必要なバランスを保つことができますように。他の人たちも自分自身も思いやることができますように。いつでもあなたが中心におられて、バランスを保ってくださいますように。イエス様のお名前によって。アーメン。

テネシー州 マックイーウエン

シャロン・フォースター

2月19日(日)

## 心配しないで

聖書朗読 Iコリント 4:1~7

空の鳥を見なさい。種蒔きもせず、刈り入れもせず、倉に納めることもしません。けれども、あなたがたの天の父がこれを養ってくださるのです。あなたがたは、鳥よりも、もっとすぐれたものではありませんか。あなたがたのうちだれが、心配したからといって、自分のいのちを少しでも延ばすことができますか。

マタイ 6:26~27

主がお与えになった日は、なんて美しいのでしょうか。主が私のたちために造ってくださったこの世界で、少し深呼吸をしてみてください。私はここに座って鳥のさえずりに耳を傾けています。なんて美しい響きでしょう。彼らは何て言っているのでしょうか。私には分かりません。でも、幸せで満ち足りているように聞こえます。彼らには、心配もストレスもありません。私たちも、鳥から学ぶことができます。彼らは、創造主を完全に信頼しています。私たちも鳥のようになれるのでしょうか？なれます！でも、それには忍耐が必要とされます。私たちは、日々、素晴らしく完璧な主のお守りを信頼して、主の御前に進み出なくてははいけません。私たちが心配や痛みを神にゆだねる時、自分の人生をコントロールしようとするところから解放されます。神のタイミングを信頼して生きる時、私たちはリラックスして神のお守りの下で生きることができます。

ゆっくりと神に速度を合わせて生きていきましょう。自分のタイミングで生きようとするのはやめましょう。神に全てをゆだねる時、全てはうまく収まるのです。私たちが自分でコントロールしようとする時、私たちの人生は壊れていくのです。

新聖歌 289

祈り 主よ。私は心配事を自分でコントロールしようとしませぬ。心配事をあなたにゆだね、あなたが全てを支配されていると信頼できるよう助けてください。あなたがどれだけ大きな存在か知ることができるよう、あなたの世界の美しさを見ることのできる目をください。キリスト様のお名前によって。アーメン。

ルイジアナ州 モアリングスポート

スーザン・リーチ